

取扱説明書

バイタルビーツ 3in1 (Vital Beats 3in1)

BS3000

2023年11月

まえがき

- 安全に正しくお使いいただくため、ご試用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
また取扱説明書は必ず保管してください。
- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除きこの「取扱説明書」では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- バイタルビーツは日本国内専用です。海外では使用できません。

株式会社フューチャーインク

目次

お使いになる前に

同梱物の確認	3
ネットワーク環境の確認	4
通信機の設置	4
ネットワーク接続	5～10

ベッドセンサの設置と測定

警告	11～13
製品の概要	14
利用条件	15
各部の名称	16
シートセンサの設置手順	17～18
測定開始手順	19
測定停止手順	20
一時停止	20
入床/離床感度切替	21
点検とお手入れ	22
保管方法及び有効期間	22

故障かな？と思ったら..... 23

仕様	24
保証書とアフターサービス	25～26

お使いになる前に

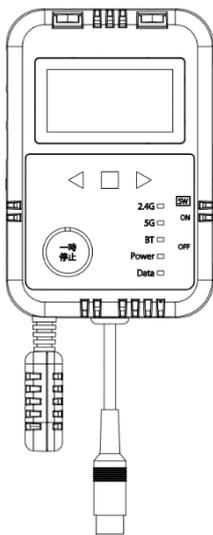
■同梱物の確認

- ・開梱後、以下の部品が全て揃っていること、破損していないことを確認してください。
- ・通信機の”計測データ表示用ディスプレイ”と”操作パネル”の保護シールを剥がしてご使用ください。

① シートセンサ x1



② 通信機 x1



③ AC電源 x1



④ 固定ベルト x2



⑤ USBメモリ(キットティング用) x1



⑥ 取扱説明書(保証書付) x1



■ネットワーク環境の確認

・本製品は無線 LAN を使用します。 ※各通信事業者が提供するサービスの契約が必要です。

① 対応規格: (Wi-Fi)

802.11 b/g/n :2.4GHz もしくは 802.11 ac/n/a:5GHz

② 電波受信強度

通信機の設置場所で常に電波受信強度が-60dBm 以上であることを確認してください。

電波受信強度が基準値から大きく離れるほどデータ送信に障害が発生する可能性が高くなります(お使いのシステム上でデータが欠損する原因となります)。

③ アクセスポイントの SSID とパスワード

同一構内に同一SSID で違うパスワードのアクセスポイントを設定しないでください。

④ アクセスポイントのチャンネル

施設内で複数のアクセスポイントが設置されている場合、近接するアクセスポイントとの間で電波干渉が発生しデータ送信に障害が発生します。電波干渉を防ぐために近接するアクセスポイントでは同一チャンネルの設定を避けてください。

⑤ 無線アクセスポイント機器の接続可能台数

接続上限などに留意し、問題が出ないようにご注意願います。

⑥ 通信回線設備で処理可能な通信データ量

1 回あたりの通信データ量はおよそ 600bytes です。

複数台同時に使用する場合は、台数に比例して通信データ量が増加します。

施設内で同じ通信回線設備を利用する VB 以外の機器で使用する通信データ量と合わせて、トータルの通信データ量を施設の通信回線設備で処理できる必要があります。

(施設の通信回線設備に依存しますので、施設の設備担当の方において、設備設置業者などを通じてご確認ください)

処理の遅延が発生するとお使いのシステム上でデータが欠損する原因となります。

■通信機の設置

・付属する取付器具を使用してベッドのヘッドボードもしくはフットボードに取付してください

・通信機を床に直置きすることはやめてください。

※床付近は一般に電波強度が低くなる傾向が強いです。

・設置位置での電波強度に留意願います。(立ち位置での電波強度とは異なります)

■ネットワーク接続

- ・シートセンサを設置する前に通信機の Wifi 接続を行ってください。
- ・次に従ってアクセスポイントの「SSID」「パスワード」、サーバの「URL」「API Key」の設定を行ってください。
- ・通信機の IP アドレスを固定することも可能です。その場合は「IP アドレス」「ゲートウェイアドレス」「DNS アドレス」を確認してください。

準備するもの

- ・付属の USB メモリ(同梱物⑤)
- ・USB メモリを読み書きできる PC

1. PC に付属の USB メモリを接続してください。
2. USB メモリ内に以下のファイルとフォルダがあることを確認してください。

—ssid_tool.exe	・・・SSID,パスワードの設定用
—url_setup.exe	・・・upload サーバの URL/API Key、Proxy サーバ、NTP サーバの設定用
—ip_config_tool.exe	・・・固定 IP 設定用
—firmware	・・・設定用ファイル格納フォルダ

3. SSID、パスワードの設定用ファイル作成を行います。

- ・USB メモリ内の「ssid_tool.exe」を実行します。
下の画面が現れて設定する SSID の数を要求されます。
一度に複数の SSID を設定できます。

```
CB03 SSID設定ファイル作成ツール Ver. 1.10
設定するSSIDの数を入力してください :
```

- ・設定する SSID の数を入力してください。(例:1つの SSID を設定する)
1つの SSID を設定するとして“1”を入力しリターンキーを押します。

```
CB03 SSID設定ファイル作成ツール Ver. 1.10
設定するSSIDの数を入力してください : 1
[1]
SSIDを入力してください : _
```

- ・接続先の SSID を入力してください。(例:“abcdef”)
SSID を入力してリターンキーを押します。

```
CB03 SSID設定ファイル作成ツール Ver. 1.10
設定するSSIDの数を入力してください : 1
[1]
SSIDを入力してください : abcdef
```

- ・接続先のアクセスポイント(AP)がステルスモード(非公開)か否かの選択をします。(例:“N”)

 **注意** アクセスポイントの設定についてはネットワーク管理者へ確認してください。

```
CB03 SSID設定ファイル作成ツール Ver. 1.10
設定するSSIDの数を入力してください : 1
[1]
SSIDを入力してください : abcdef
非公開SSIDですか? [Y/N] : n
```

- ・接続先のパスワードを入力してください。(例:“123456”)

パスワードを入力してリターンキーを押します。

```
CB03 SSID設定ファイル作成ツール Ver. 1.10
設定するSSIDの数を入力してください : 1
[1]
SSIDを入力してください : abcdef
非公開SSIDですか? [Y/N] : n
パスワードを入力してください : 123456_
```

- ・“firmware”フォルダ内にファイル名「wpa_supplicant.conf」が出来ます。

4. Upload サーバの URL/API Key、Proxy サーバ、NTP サーバの設定用ファイル作成を行います。

 **注意** サーバの運用についてはネットワーク管理者へ確認してください。

- ・USB メモリ内の「url_setup.exe」を実行します。

下の画面が現れて設定するサーバの URL を要求されます。(※upload サーバの URL)

```
CB03 Upload URL & API-Key Setting file making tool version 1.30
Enter Upload URL :
```

- ・URL を入力してください。(例:“https://abcdef.net/post”)

```
CB03 Upload URL & API-Key Setting file making tool version 1.30
Enter Upload URL : https://abcdef.net/post
```

- ・IP アドレスの指定を選択します。(例:“y”) (※サーバの固定 IP アドレス)

```
CB03 Upload URL & API-Key Setting file making tool version 1.30
Enter Upload URL : https://abcdef.net/post
Do you need to set IP address for upload server? (Y/N) : y
```

“N” の場合は DNS サーバから IP アドレスを取得し、API Key の入力に進みます。

“Y” の場合はサーバの固定 IP アドレスの入力に進みます。

- ・サーバの固定 IP アドレスを入力してください。(例:“192.168.0.1”)

```
CB03 Upload URL & API-Key Setting file making tool version 1.30
Enter Upload URL : https://abcdef.net/post
Do you need to set IP address for upload server? (Y/N) : y
Enter IP address for Upload URL : 192.168.0.1
```

- ・API Key を入力してください。(例:“123456”) (※API Key)

```
CB03 Upload URL & API-Key Setting file making tool version 1.30
Enter Upload URL : https://abcdef.net/post
Do you need to set IP address for upload server? (Y/N) : y
Enter IP address for Upload URL : 192.168.0.1
Enter API-Key : 123456
```

・Proxy サーバの指定を選択します。(※Proxy サーバ)

```
CB03 Upload URL & API-Key Setting file making tool version 1.30
Enter Upload URL : https://abcdef.net/post
Do you need to set IP address for upload server? (Y/N) : y
Enter IP address for Upload URL : 192.168.0.1
Enter API-Key : 123456
Do you use Proxy server? (Y/N) : y
```

“N” の場合は Proxy サーバを経由せずに直接指定した upload サーバヘータを送信するように設定し、NTP サーバの指定に進みます。

“Y” の場合はポート番号を付加した URL の入力に進みます。

・ポート番号を付加した URL を入力してください。(例:“http://proxy.abc.co.jp:1234”)

```
CB03 Upload URL & API-Key Setting file making tool version 1.30
Enter Upload URL : https://abcdef.net/post
Do you need to set IP address for upload server? (Y/N) : y
Enter IP address for Upload URL : 192.168.0.1
Enter API-Key : 123456
Do you use Proxy server? (Y/N) : y
Enter IProxy server URL : http://proxy.abc.co.jp:1234
```

・NTP サーバの指定を選択します。(※NTP サーバ)

```
CB03 Upload URL & API-Key Setting file making tool version 1.30
Enter Upload URL : https://abcdef.net/post
Do you need to set IP address for upload server? (Y/N) : y
Enter IP address for Upload URL : 192.168.0.1
Enter API-Key : 123456
Do you use Proxy server? (Y/N) : y
Enter IProxy server URL : http://proxy.abc.co.jp:1234
Do you use NTP server? (Y/N) : y
```

“N” の場合は upload サーバもしくはインターネット上の NTP と時刻同期を行い、設定を終了します。

“Y” の場合は NTP サーバアドレスの入力に進みます。

・NTP サーバのアドレスを入力してください。(例:“ntp.abc.net”)

```
CB03 Upload URL & API-Key Setting file making tool version 1.30
Enter Upload URL : https://abcdef.net/post
Do you need to set IP address for upload server? (Y/N) : y
Enter IP address for Upload URL : 192.168.0.1
Enter API-Key : 123456
Do you use Proxy server? (Y/N) : y
Enter IProxy server URL : http://proxy.abc.co.jp:1234
Do you use NTP server? (Y/N) : y
Enter NTP server name: ntp.abc.net
```

・“firmware”フォルダ内にファイル名「hosts」「upload_server.ini」が出来ます。

5. 固定 IP アドレスの設定用ファイル作成を行います。

通信機を固定 IP アドレスで設定しない場合は次頁 6 の作業から行ってください。



注意 固定 IP アドレスを設定する場合はネットワーク管理者へ確認してください。

- ・USB メモリ内の「ip_config_tool.exe」を実行します。

下の画面が現れて DHCP/固定 IP を選択します。

```
=====
CB03 IP設定ツール バージョン : 1.00
=====

【IPアドレス設定】
DHCP設定の場合は、N(n)+Enterを押してください
固定IP設定の場合は、Y(y)+Enterを押してください :
```

“N” の場合は DHCP サーバから IP アドレスを取得するようになり、設定操作は終了します。

“Y” の場合は固定 IP の設定を続けます。

- ・固定 IP アドレスを入力してください。

```
【IPアドレス設定】
DHCP設定の場合は、N(n)+Enterを押してください
固定IP設定の場合は、Y(y)+Enterを押してください :y
IPアドレスを入力してください
192.168.0.10/24のように入力するとサブネットマスクも設定可能です。
/16 : 255.255.0.0
/24 : 255.255.255.0
/32 : 255.255.255.255

IPアドレス : /24
```

- ・デフォルトゲートウェイの設定を選択します。

```
【デフォルトゲートウェイ設定】
設定不要の場合は、N(n)+Enterを押してください
設定する場合は、Y(y)+Enterを押してください :
```

“N” の場合は DNS サーバの設定に進みます。

“Y” の場合はデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

- ・デフォルトゲートウェイアドレスを入力してください。

```
【デフォルトゲートウェイ設定】
設定不要の場合は、N(n)+Enterを押してください
設定する場合は、Y(y)+Enterを押してください :y

ゲートウェイアドレス : 
```

- DNS の設定を選択します。

【DNS設定】
 設定不要の場合は、N(n)+Enterを押してください
 設定する場合は、Y(y)+Enterを押してください :

“N” の場合は設定操作を終了します。

“Y” の場合は DNS を設定します。

- DNS アドレスを入力してください。

【DNS設定】
 設定不要の場合は、N(n)+Enterを押してください
 設定する場合は、Y(y)+Enterを押してください : y
 DNSアドレスを入力してください
 アドレスはスペース区切りで複数設定可能です。(例)192.168.0.1 192.168.0.2
 DNSアドレス :

- “firmware”フォルダ内にファイル名「dhcpd.conf」が出来ます。

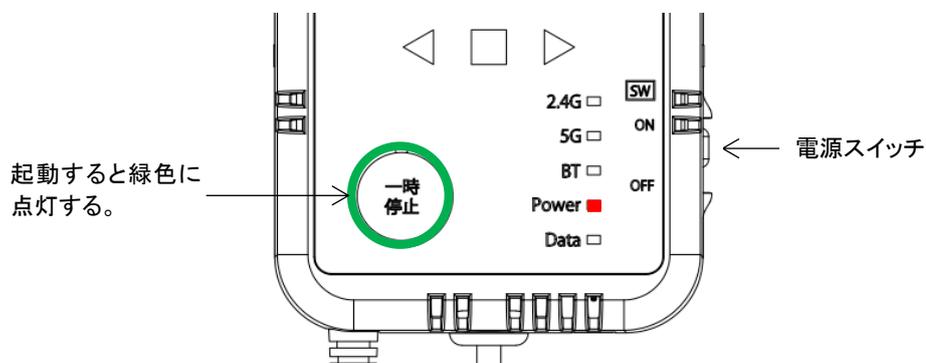
6. 設定用のファイルが出来たら USB メモリを PC から抜き取ってください。

! 注意 USB メモリは大切に保管してください。

7. AC 電源をコンセントに刺し、DC-in プラグを通信機に差し込んでください。

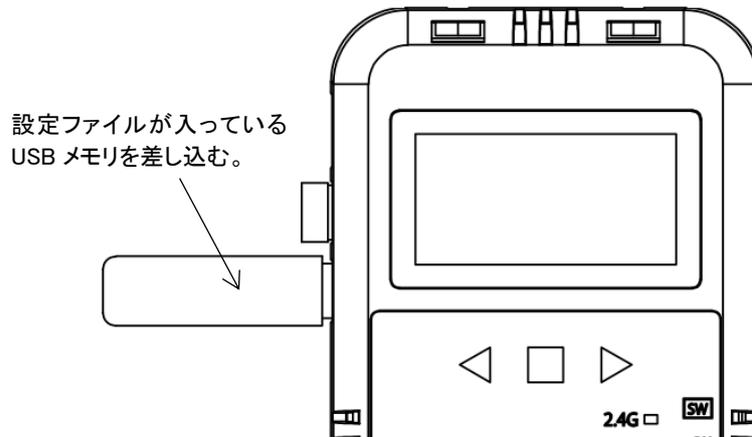
8. 通信機の電源スイッチを ON 側にスライドし電源を入れて起動してください。

- 起動までに 40 秒程度の時間を待ちます。
- 通信機が起動すると一時停止ボタンの LED が緑色に点灯します。



9. 起動した通信機に 1~5 の操作をして“firmware”フォルダ内に設定ファイルが出来た USB メモリを差し込んでください。

・USB ポートの差込位置は規定しません。空いているポートを使用してください。



10. USB メモリを差し込んだ後に一時停止ボタンの LED が消灯したら USB メモリを抜いてください。

⚠ 注意 USB メモリを刺している状態では再起動が繰り返されます。
一時停止ボタンのLEDが消灯したら必ず USB メモリを抜いてください。

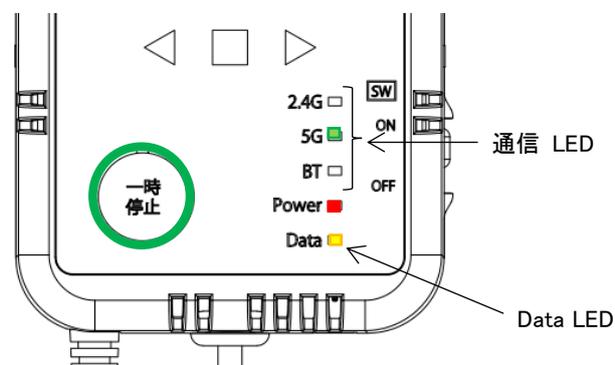
⚠ 注意 USB メモリは大切に保管してください。

11. 通信機の一時停止ボタンの LED が緑色に点灯します。

・USB メモリが外されると再起動が始まります。
・再起動終了までに 1 分 30 秒~2 分程度の時間を待ちます。

12. Wifi に接続すると、通信 LED(2.4G or 5G)が緑色に点灯します。

13. サーバとのデータ通信が始まると Data LED が黄色に点灯します。



⚠ 注意 通信 LED が点灯しない場合は SSID とパスワードを設定した内容を確認してください。

⚠ 注意 通信 LED は点灯しているが“Data”LED が消灯している場合は、ネットワーク管理者かサーバ管理者に連絡してください。

⚠ 注意 アクセスポイントは通信機からの電波が十分届く範囲に設置してください。

 **警告**

- 通信機の電源は付属の AC 電源ケーブルを使用してください。
 - ・付属品以外の AC 電源では正確に測定できない場合があります。
- 通信機とシートセンサ及び AC 電源のコードはしっかりと接続してください。
 - ・接続がゆるんでいますと故障の原因や測定できない場合があります。
- 電源コードを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。
 - ・ケーブルに傷が付き火災・感電の原因になります。
 - ・電源ケーブルに傷が付いたり、熱くなったりする場合は、使用しないでください。
- 電源コードやセンサケーブルなどをシートセンサや通信機に巻き付けしないでください。
- 不使用時には電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 接続ケーブルを抜くときはケーブルを引っ張らず、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
 - ・ケーブルを引っ張ると、芯線の露出や断線の元になり、感電やけが、故障の原因になります。
 - ・コンセントの差込がゆるい場合、コードなどがねじれて戻らない場合は使用しないでください。
- 濡れた手でケーブルの抜き差しはしないでください。
 - ・感電やけがの原因になります。
- 通信機は防水仕様ではありません
 - ・通信機/AC アダプタには水分がかからないようにお使いください。
- 電源プラグにほこりを付着させないでください。
 - ・電源プラグの表面にほこりが付着していると、水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、発火するおそれがあります。
 - ・電源プラグの表面にほこりが付着している場合は、定期的に乾いた布などでよく拭き取ってください。
- ケーブル類はベッド付近の歩行の妨げにならないように、余分な AC 電源ケーブルとセンサケーブルは別々に固定してください。
 - ・測定が正しく行われぬおそれがあります。
 - ・ベッドの可動部やサイドレールなどでケーブル類をはさまないようにしてください。
 - ・ケーブル類に足が引っ掛からない位置に配線してください。
 - ・配線が正しく行われていることを定期的に点検してください。
 - ・ケーブル類を接続したままシートセンサや通信機を移動しないでください。
 - ・ベッドを移動する際は、必ず AC プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。
- シートセンサを強く折り曲げたり、刃物などで傷をつけないでください。
 - ・シートセンサが正常に動作しなくなります。
- 火気に近づけないでください。
 - ・50℃以上のものに近づけないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

 **警告**

- シートセンサは完全防水構造ではありませんので、浴槽内や水の近くでの使用や保管をしないでください。
 - ・生活防水は施しています。
- お手入れをするときは電源を切ってください。
 - ・本製品の汚れは固く絞った濡れたやわらかい布等で軽く拭くようにしてください。
 - ・ショートして感電するおそれがあります。
 - ・お手入れに、アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯などは使用しないでください。
 - また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色・変質の原因になります)
- シートセンサを 50℃以上のものに近づけないでください。
 - ・シートセンサが正常に動作しなくなります。
- 電気カーペット、電気毛布などの暖房機器との併用は避けてください。
 - ・シートセンサが正常に動作しなくなります。
- 高感度センサを使用しており以下のような場合に誤検知する可能性がありますのでご注意願います。
 - ・床がフローリングなど、周囲の振動を与えやすい環境である。
 - ・ベッド周辺にて、ご利用者の介護などを行っており振動が発生している。
 - ・センサからのケーブルが垂れ下がっている場合、ケーブルが揺れて振動となる。
- 一人用の装置ですので二人以上での、ご使用はできません。
- 通信機と外部通信機器との間には金属等の電波を遮断するものを設置しないでください。
- 無線アクセスポイントと通信機の間、人の往来、ドアの開閉などによっても無線通信に影響を与える場合があります
- 電子レンジやコードレス電話は無線通信のノイズ源となりますので、通信機の近くでは使わないようにしてください。
- 心臓ペースメーカーなどの医療機器と併用する場合は、各医療機関や施設の案内および指示に従い、安全を確認してからご使用ください。誤動作するおそれがあります。
- 本製品を落としたり、ぶついたりしないでください。
- 本製品の分解・修理・改造を行わないでください。
 - ・火災や感電、けがの原因になります。
 - ・分解や改造をされますと製品の保証対象外となり併せて修理等のアフターサービスをお受けしかねます。
- AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、電源プラグを差し込まないでください。
 - ・異なる電圧で使用すると、ショートによる発煙・火災のおそれがあります。

 **警告**

■タコ足配線は行わないでください。

- ・コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、AC アダプタやケーブル類が発熱して発火するおそれがあります。
- ・決められた電気量を超えて使うのは火災の原因になります。

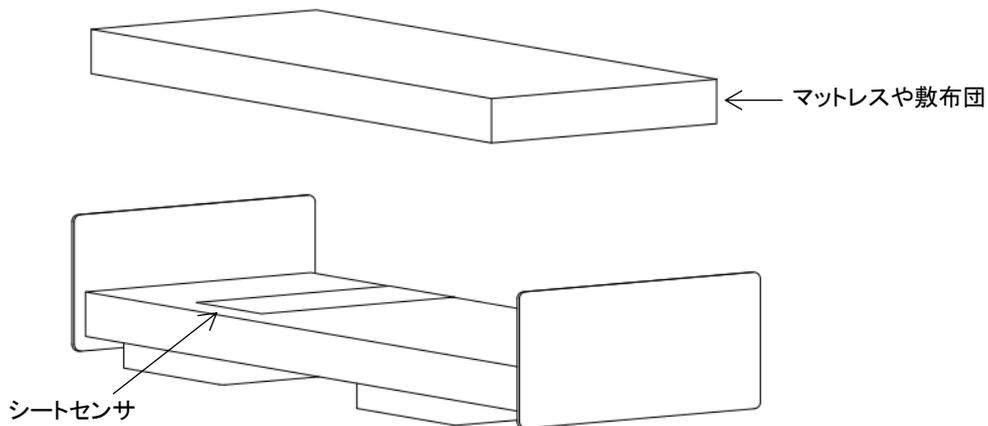
■本製品は日本以外では使用できません。

製品の概要

・バイタルビーツは、シートセンサをマットレスや敷布団などの下に敷いて人の心拍、呼吸、体動を検出し睡眠状態を測定するセンサです。シートセンサからの情報は Wifi で接続されたアクセスポイントを通してサーバへ集約されます。

・離れた場所から利用者の以下のことが確認できます。

- ① 心拍と呼吸の状態
- ② 体の動き
- ③ 睡眠状態
- ④ 在床/離床状態



注意 心臓ペースメーカーなどの医療機器と併用する場合は、各医療機関や施設の案内および指示に従い、安全を確認してから使用してください。疾病の診断、治療または予防を目的とした機械器具ではありません。



注意 心拍計、呼吸計の代用にはなりません。心拍、呼吸のデータは診断目的には利用できません。

利用条件

■センサを設置する環境

- ・屋内での使用に限定します。
- ・Wi-Fi 通信が届くエリアで使用します。 ※Wi-Fi 環境がない場合はモバイルルータが必要です。
- ・推奨温度:0-40°C
- ・推奨湿度:10-90%RH
- ・建物自体や近隣からの振動を受けない場所であること。
※例えば建物内の空調・暖房機器や、近隣道路の交通などによる振動が無いこと。

■利用者の制限

- ・1つのベッド(センサ)につき1名までの測定が可能です。
※添い寝など一つのベッドに2名以上が在床している状態ではお使いになれません。
※大きなベッドにセンサを2つ設置しても2名での使用はできません。
- ・利用できる推定体重は20~150Kgまでです。
※体重が軽い場合、正しく数値を測定できない場合がありますが、マットレス上にシートセンサを設置することで改善できる場合があります。

■ベッドフレームの条件

- ・一般介護用ベッドフレームでの利用を想定した製品です。
- ・標準ベッドフレーム幅は80~100cmです。
- ・リクライニング機構を有するベッドで30度以上のリクライニング角度でのご使用においては、正しく数値を測定できない場合があります。
- ・リクライニングの動作中は正しく数値を測定することができません。
- ・振動を発生する機器とVitalBeatsの併用はできません。
※例えばモータ類、ポンプ類などが動いていると正しく数値を測定できません。

■マットレスの条件

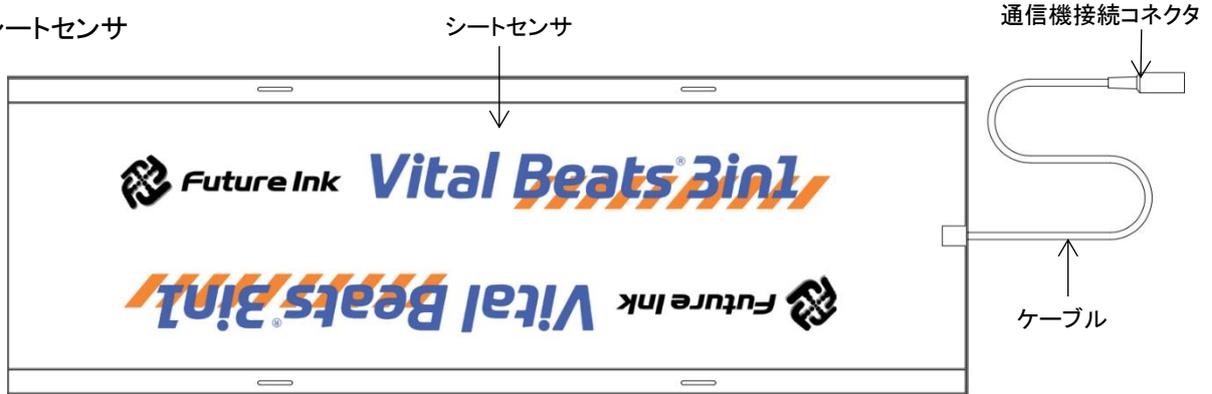
- ・一般用介護用マットレスでの利用を想定した製品です。
- ・推奨マットレス材質はウレタン製です。
※一部の、ウォーターベッド、スプリングマット、褥瘡予防マット、エアーマットなどでご利用できない場合がございます。(正しく数値を測ることができません)
マットレス上にシートセンサを設置することで改善できる場合があります
- ・推奨マットレス厚は材質によりますが約20cmまで対応しています。
※厚いマットレスでは正しく数値を測ることができない場合があります。
※マットレスを重ねてお使いの場合、正しく数値を測ることができない場合があります。
マットレス上にシートセンサを設置することで改善できる場合があります。
- ・振動を発生する機器とVBの併用はできません。
※褥瘡防止のエアーマットレスなどで、マットレス圧を変化させる機能やポンプ類などが動いていると、正しく数値を測定できません。

■その他の寝具の条件

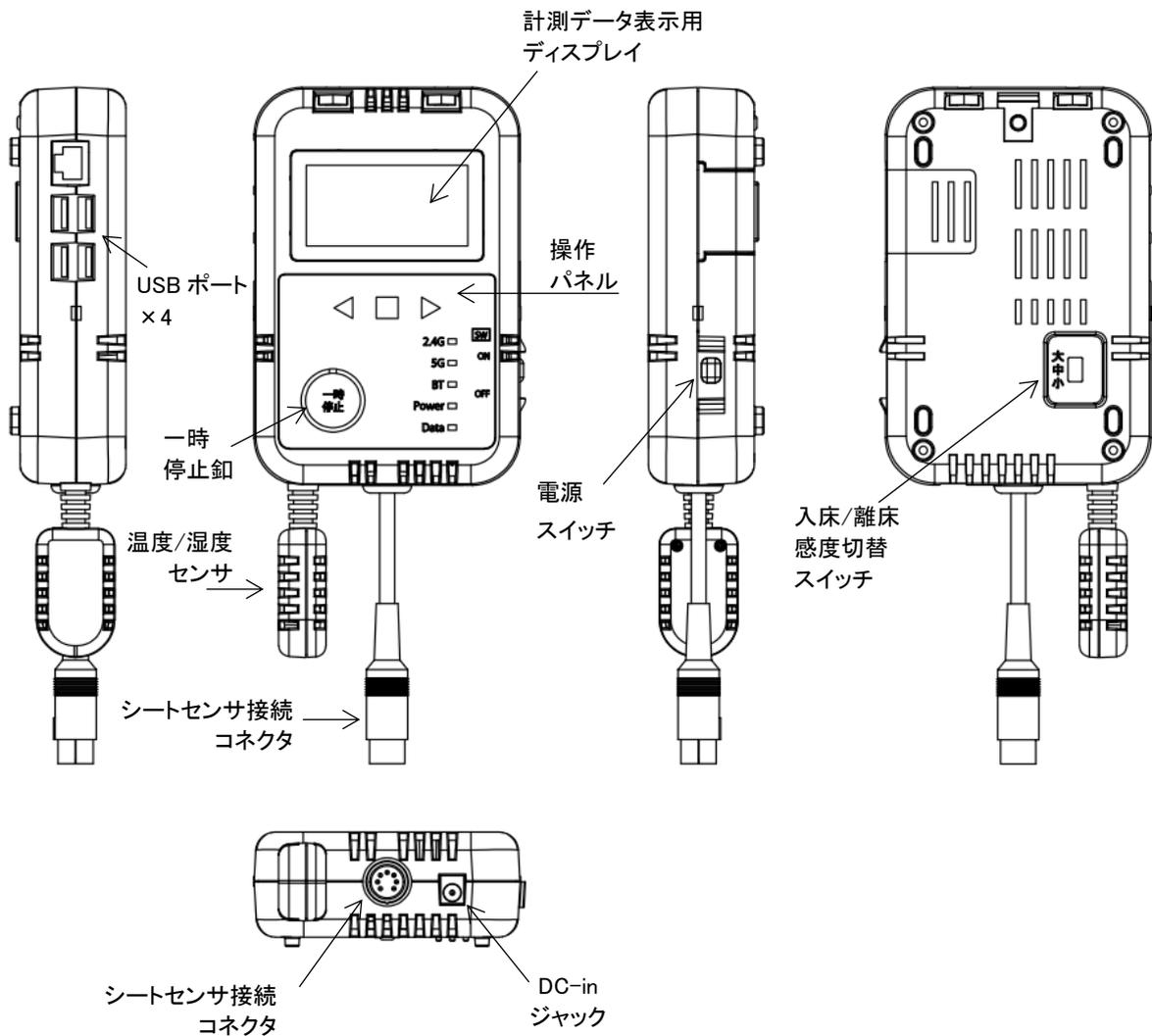
- ・ポジショニングピロー・クッションとの併用では、正しく数値を測る保証はできません。
- ・電気カーペット、電気毛布などの暖房機器との併用は避けてください。

各部の名称

■シートセンサ



■通信機



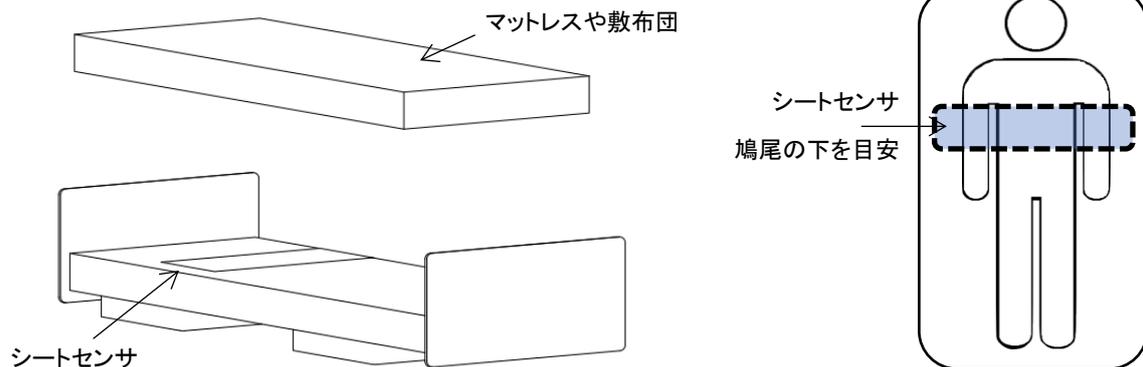
■AC 電源



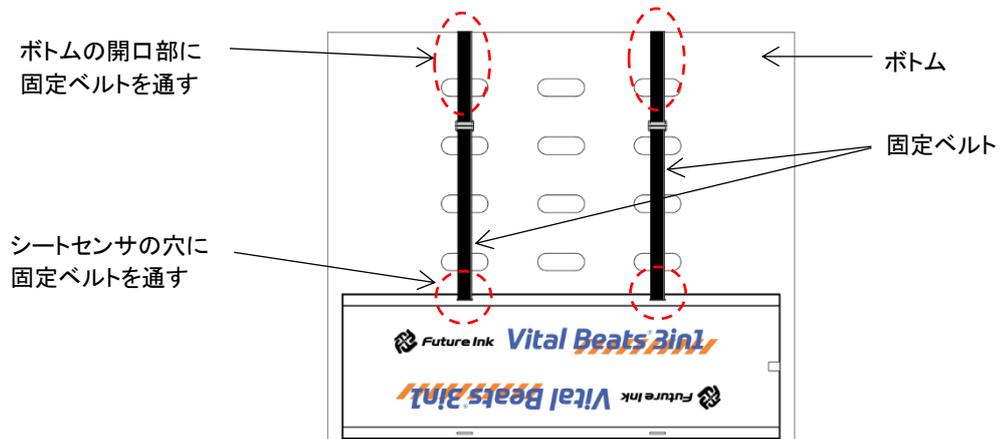
シートセンサの設置手順

1. ベッドのマットレスまたは敷布団の下にシートセンサを設置します。
 - ・シートセンサの印刷面が表面に来るように使用してください。
 - ・設置位置がご利用者様の鳩尾を目安に肩甲骨より下腰骨より上の間になるように設置してください。

⚠ 注意 シートセンサの位置が鳩尾を目安に肩甲骨より下 腰骨より上の間からずれると正しく数値を測定することができません。



- ・シートセンサがズレないように、センサの片側に設けてある穴とベッドのボトムにある開口部に固定ベルトを通して設置してください。

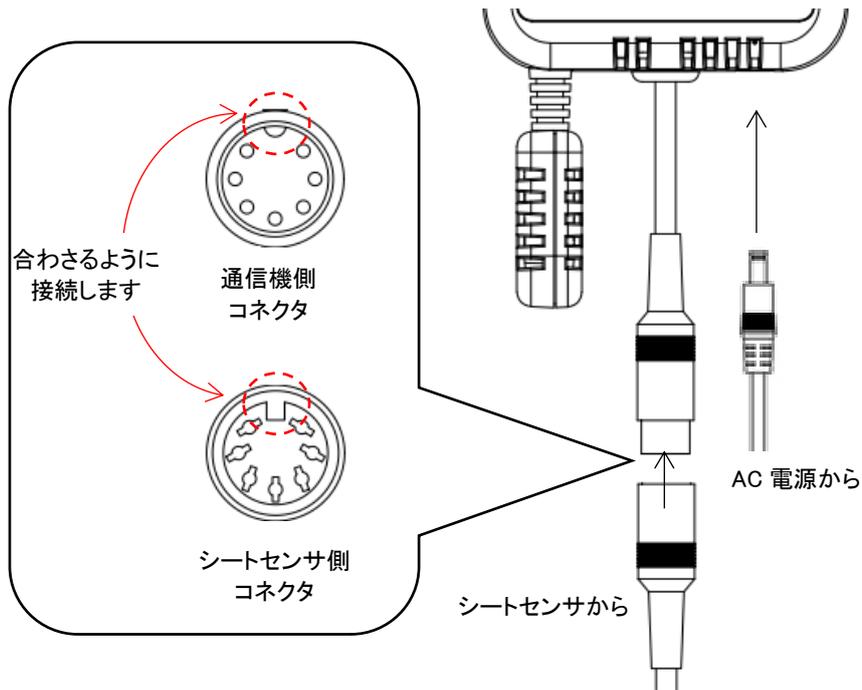


- ・シートセンサのケーブルはベッドに乗降りする反対側、もしくは利用者の生活を妨げないように配線してください。

⚠ 注意 介護ベッドなどでベッドフレームに可動部がある場合は、シートセンサやコードがその可動部で折り曲がらない位置に設置してください。

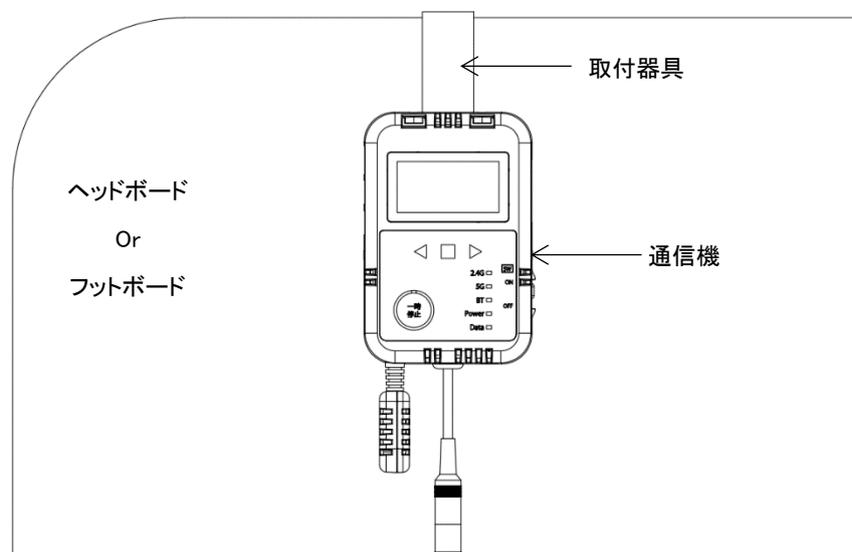
シートセンサの設置手順

2. シートセンサのケーブルと通信機を接続してください。
 - ・シートセンサと通信機の接続コネクタを接続してください。
 - ・コネクタの凸凹部分を合わさるように接続します。
3. AC 電源からの DC-in プラグをジャックに差し込んでください。



⚠ 注意 ベッドフレームの可動部にコードが挟み込まれたり、引っ張られないように設置してください。

4. 通信機に付属する取付器具を使用してベッドのヘッドボードもしくはフットボードに引っかけてください。

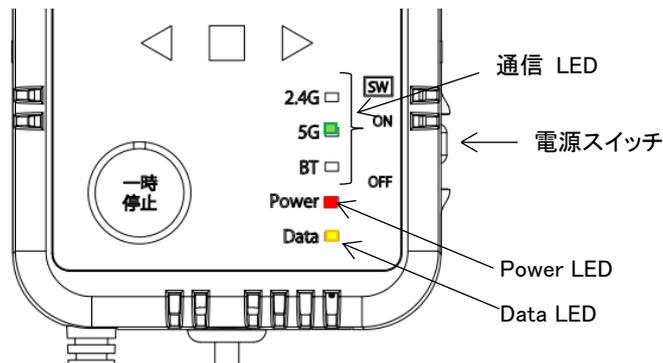


測定開始手順

- 通信機の電源を入れると自動で測定が開始されます。

⚠ 注意 電源を入れる前に、シートセンサが正しく設置・配線されていることを確認してください。

1. 通信機の電源スイッチを“ON”にしてください。



2. 電源が入ると操作パネルの“Power”LED が赤色に点灯します。
3. 接続された無線 LAN(Wifi)の通信周波数を示す通信 LED(“2.4G” or “5G”)が緑色に点灯します。
・起動までに 40 秒程度の時間を待ってください。

※上記の例では Wifi 周波数 5Ghz で接続されています。

⚠ 注意 通信 LED が消灯している場合は、Wifi 接続が未接続ですので、取扱説明書の「お使いになる前に」のネットワーク接続の項目に従って接続作業を行ってください。

4. 測定データが送信されると“Data”LED が黄色に点灯します。

⚠ 注意 通信 LED は点灯しているが“Data”LED が消灯している場合は、ネットワーク管理者かサーバ管理者に連絡してください。

測定停止手順

- 通信機の電源を切ると測定は停止されます。
1. 通信機の電源スイッチを“OFF”にしてください。
 2. AC 電源の電源プラグをコンセントから抜いてください。

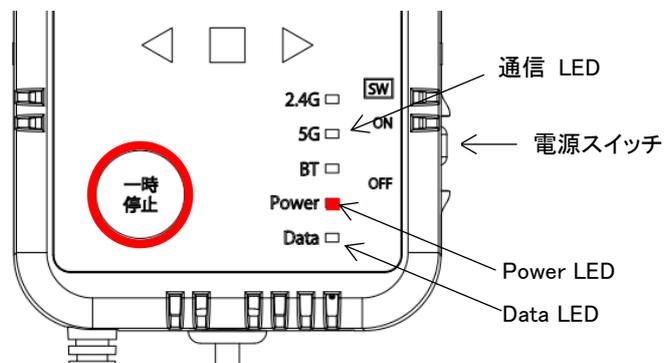
 **注意** 電源プラグをコンセントから抜くときはプラグを持って抜いてください。

3. 通信機の電源ケーブルを取外してください。

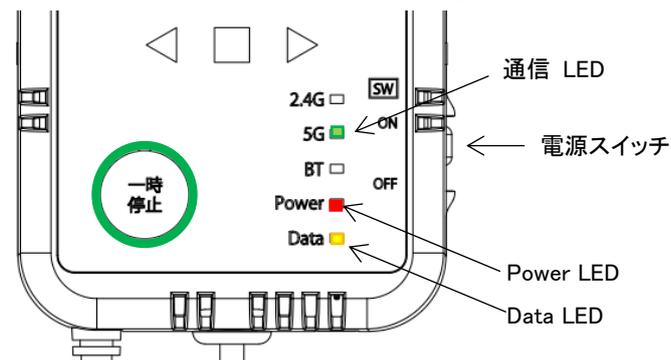
 **注意** 電源ケーブルを外すときは、コネクタを持ってまっすぐ引き抜いてください。
断線・破損により正しく測定できないおそれがあります。

一時停止

- ベッドメイキング等の測定を停止させたい場合に使用する一時停止機能があります。
1. 操作パネルの一時停止ボタンを押すとボタン周辺の LED が緑色から赤色に変化します。
・LED が赤色で点灯している間は測定を停止しています。



2. 再度一時停止ボタンを押すとボタン周辺の LED が緑色に変化し測定を再開します。



 **注意** 一時停止状態が 10 分以上続くと、自動で一時停止が解除されます。

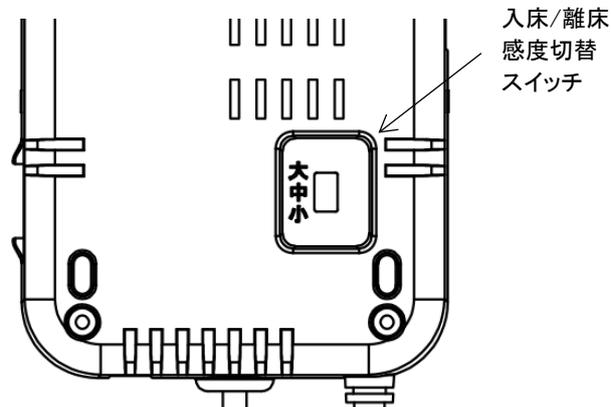
入床/離床感度切替

- 入床や離床を検知できない場合にセンサの感度調整を行うことができます。

※基本的に【中】標準にてご使用をお願いいたします。

- ・入床/離床の検知状況を確認して通信機の背面にある入床/離床感度切替スイッチを切り替えてください。

- | | | |
|--------------------------|-----|---------|
| ① マット重量/構造等により離床判定が出難い場合 | ... | 【大】: |
| ② 一般的な設定 | ... | 【中】: 標準 |
| ③ 低体重等により入床判定が出難い場合 | ... | 【小】: |



点検とお手入れ

■ 点検

・バイタルビーツを使用する前に、下記の点検項目をチェックして、異常のない事を確認してください。

・点検項目

- ① シートセンサの設置手順に従い、正しい位置・正しい向きに設置されていること
- ② ケーブル類が正しく配線されていること
- ③ 電源を入れると PowerLED が赤色に点灯すること
- ④ シートセンサと通信機が破損・変形していないこと

■ お手入れ



警告 お手入れするときは、電源を切ってください。ショートして感電するおそれがあります。

・本製品の汚れは固く絞った濡れたやわらかい布等で軽く拭くようにしてください。

・お手入れに、アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯などは使用しないでください。

また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。(変色・変質の原因になります)

・通信機への接続ケーブルにゆるみが無いか確認してください。

保管方法及び有効期間

■ 保管方法

・直射日光、ほこりの多い場所は避けてください。

・温度 0°C～50°C、湿度 10%～90%RH の環境で保管してください。

・シートセンサは折り曲げずにお送りした専用の梱包箱に納品された状態にて保管してください。

・シートセンサの上には力が掛からない状態で保管してください。

■ 耐用期間

・5年(自己認証による)。ただし消耗品である AC 電源の交換を行った場合に限りです。

故障かな？と思ったら

- 故障ではない場合がありますので、相談窓口にお問い合わせの前に以下の項目をご確認ください。

症状	確認	対処
通信機の PowerLED が点灯しない。	電源ケーブルが正しく接続されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・付属の AC 電源ケーブルを使用しているか確認してください。 ・通信機の DC-in プラグにゆるみが無いか確認してください。 ・AC 電源のプラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。
通信機の通信 LED が点灯しない。	Wifi 接続されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスポイント(ルータ)の電源が入っていることを確認してください。 ・アクセスポイント(ルータ)が通信機からの電波が十分届く範囲に設置されていることを確認してください。 ・Wifi 接続手順にしたがってアクセスポイントとの接続作業が完了していることを確認してください。
睡眠状態が測定されない。	シートセンサと通信機は正しく接続されていますか？	・シートセンサの通信機接続コネクタがゆるみなく接続されていることを確認してください。
	シートセンサが正しい位置に設置されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・マットレスや敷布団の下に設置されているか確認してください。 ・寝る位置や姿勢を確認してください。
	シートセンサの周辺で電気カーペットや床暖房、電気毛布などを使用していますか？	・電気カーペットや床暖房、電気毛布などの温度によって、シートセンサの故障につながるおそれがあります。測定時の併用をお控えください。
	測定中に通信機の電源が切られたり、停電が発生するなどの電源が遮断されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ・AC 電源ケーブルにゆるみが無いか確認してください。 ・Wifi 接続されているか確認してください。(通信 LED が消灯している場合は未接続です。)

仕様

項目		仕様
販売名		Vital Beats 3in1(バイタルビーツ 3in1)
品番		BS3000
寸法および 質量	シートセンサ (本体)	寸法:750 mm×250 mm±10% 厚さ:3mm~10mm 質量:560g±20%
	通信機	寸法:100 mm×250 mm×43 mm±10% 質量:280g±10%
	AC 電源	ケーブル長:1.5m ±20% 質量:66g ±10%
材質	シートセンサ	PVC 樹脂(表面材質)
	通信機	ABS 樹脂(表面材質)
耐用期間		5年(自己認証による) ただし、消耗部品である AC 電源の交換を行った場合に限る
環境条件	保管/輸送時	温度 0~50°C 湿度 10~90%RH
	使用時	温度 0~40°C 湿度 10~90%RH
通信規格		WiFi 802.11 b/g/n :2.4GHz WiFi 802.11 ac/n/a:5Ghz
電氣的定格		通信機:DC5V/1.5A AC 電源:入力 AC100-240V 50/60Hz /出力 DC5V/3A
消費電力		7.5W

※本製品の仕様は改良の為に予告も無く変更する場合がありますのでご了承ください。

保証書とアフターサービス

■ 保証書

品名	Vital Beats 3in1(バイタルビーツ 3in1)	
品番	BS3000	
保証期間	1 年間	
お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	
	TEL	
販売店	店名	
	住所	
	TEL	
備考		

※販売店から発行された領収書などを、本保証書と一緒に大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内(お買い上げの日より 1 年間)に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理または交換いたします。
- 次の場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - 使用上の誤り、あるいはお客様側での分解、改造や修理による故障および損傷
 - 弊社が指定する構成品以外の製品と組み合わせて使用したことによる故障および損傷
 - お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
 - 保証書のご指示がない場合
 - 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

尚、ここでいう保証は製品のみ保証であり、製品の故障により誘発される損害についてはご容赦いただきます。

■ ご不明な点に関するご相談

お買い求めいただきました販売店、又は下記にメールにてご連絡ください。

お客様お問合せ窓口

株式会社フューチャーインク

URL: <http://www.futureink.co.jp/>

E-Mail: support@futureink.co.jp